

府立中津支援学校 令和2年度「学校運営協議会」議事録（第2回）

日 時	令和2年11月26日（木） 10:00～12:00			
出席者	協議会委員	所属等	学校事務局	校務分掌等
	川田 和子	大和大学 准教授	奥井 光司	校長
	田中 博之	大阪整肢学院 院長	山 寄 夏生	教頭
	五石 敬路	大阪市立大学大学院准教授	水迫 英紀	事務長
	花咲 典之	中津連合振興町会会長	川村 弘之	首席
	米 田 秀	ワークセンター中津所長	川口 喜志子	研究部長
傍聴人			村上 紗枝里	研究部
おもな テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年学校経営計画進捗状況について ・ 授業改善のための公開授業の取組みについて 			
協議内容 の概略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業見学 ・ 学校運営協議会実施要項準則におけるオンライン会議システムによる出席を認めるための改正について ・ 学校経営計画進捗状況の報告 <ul style="list-style-type: none"> 防災士1名合格。新しく導入した視線入力装置、移動支援装置、スパイダー等を活用できる教員は現在10人程度で今後も増加の見込み、キャリア教育充実に向けて試案を作成済。今後さらなる検討を行う。ホームページ閲覧数は昨年度までの6年間の合計を上まわり、倍増の閲覧数であるが、今後はさらなる内容の充実をはかる。 ・ 授業改善のための公開授業の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> 昨年の反省を踏まえ授業参観シート、概念化シートを活用した。 ・ 新型コロナウイルス感染症の本校の状況と対応について ・ 学校教育自己診断アンケートの実施について ・ 今年度の学校運営協議会の予定について 			
提言内容・ 改善方策	<p>意見・提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会実施要項準則の改正案は、承認。 ・ 大阪整肢学院と連携し合同自立活動を9回実施。 <ul style="list-style-type: none"> 中津支援学校で実施した研修会には大阪整肢学院の職員が参加した。（計3回14人参加）今後も連携を進めていってほしい。 ・ 授業改善のための公開授業の取り組みでは、授業を参観した先生方が付箋に気付きや感じたことを記入することで多様な目で振り返り、各グループごと9枚の概念化シートができているということなので、今年度発行される実践報告集を楽しみにしている。 ・ コロナ禍で予定していた行事が実施されないことが多い。また修学旅行は例年の場所には行くことができなかった。このような厳しい状況の中、児童生徒のみなさんが、楽しそうに活動されているのをみて安心した。ぜひこのコロナ禍を乗り越えてほしい。 ・ アルコールが不足した場合は中津連合振興町会で確保している分があるので、言っただけであれば協力することができる。遠慮なく伝えてほしい。 ・ 昨年と違い、スノーズレンなど、よい取り組みをしていると感じた。日頃、大声を出したり、乱暴な行動をとる子どものものであっても、スノーズレンを使うことによって、気持ちを落ち着かせることができるという効果もある。 			